

令和4年度  
沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究所  
(後期博士課程)  
学生募集要項

- ◇出願期間 令和4年1月17日(月)～21日(金)  
※1月21日(金) 郵送発信局消印有効
- ◇作品・ポートフォリオ・課題曲等録画映像など送付(芸術表現研究領域)  
令和4年2月17日(木) 必着
- ◇筆記試験(語学)  
令和4年2月25日(金) 必着で答案返信
- ◇オンライン口述試験(面接)  
令和4年3月1日(火)、2日(水)  
(追試験) 令和4年3月11日(金)
- ◇合格発表 令和4年3月5日(土)  
(追試験) 令和4年3月20日(日)
- ◇入学手続 令和4年3月8日(火)～15日(火)  
(追試験) 令和4年3月22日(火)～28日(月)  
※受付時間:午前10時～午後4時  
※郵送の場合は締切日までに必着

※新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、安全かつ円滑に入学者選抜試験を実施するため、遠隔による試験を導入します。また、今後の状況によっては入試科目の見直し、試験方法及び日程等を変更する場合があります。その場合は、本学ホームページ(<http://www.okigei.ac.jp>)で告知します。

令和3年11月

公立大学法人



沖縄県立芸術大学

OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4

電話 (098)882-5080

<http://www.okigei.ac.jp>

メールアドレス [kyomu@okigei.ac.jp](mailto:kyomu@okigei.ac.jp)

## 目 次

I	募集人員	1
II	出願資格	1
III	選抜方法等	1
	表1（造形芸術）	2
	表2（音楽芸術）	4
IV	試験日程・試験方法	7
V	出願手続	8
VI	出願書類	9
VII	合格者発表	10
VIII	入学手続	10
IX	入学試験問題の公表	10
X	入試情報開示請求について	11
XI	外国人志願者に対する取扱い	11
	大学院案内	12
	芸術文化学研究科の三つのポリシー	13
	専攻案内	14
	研究室一覧	15
	芸術表現研究領域担当教員候補者一覧	16
	沖縄県立芸術大学大学院長期履修規程	17
	入学願書等提出書類	18
	沖縄県立芸術大学周辺略図	27

# 令和4年度沖縄県立芸術大学大学院芸術文化科学研究科学生募集要項

## I 募集人員

専攻……………芸術文化学専攻  
募集人員……………3人

## II 出願資格

- 1 令和4年3月修士課程（博士前期課程）修了見込みの者
- 2 修士の学位又は専門職学位を有する者
- 3 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- 5 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、学校教育法施行規則第70条の2第3号の規定により文部科学大臣が指定したものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- 6 学校教育法施行規則第70条の2第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- 7 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、24歳に達した者  
※ 上記7の適用を受けようとする者は、個別の入学資格審査について、令和3年11月26日（金）までに教務学生課へ申し出ること。

## III 選抜方法等

### (1) 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、提出論文、小論文、提出作品（ポートフォリオ含む）、研究計画書、実技試験（課題曲等録画映像郵送）、筆記試験（語学）、口述試験及び成績証明書、履歴書等の各資料を総合的に判定する。

### (2) 遠隔入試

新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ安全かつ円滑に入学者選抜試験を実施するため、遠隔入試を導入する。遠隔入試とは、受験者が来校せずに受験する選抜試験を指し、郵送、オンライン、メール、電話等を利用した試験である。遠隔入試実施の詳細については、随時本学ホームページにて公表するので、留意すること。

### 1 比較芸術学研究領域・民族音楽学研究領域

【提出論文】修士論文、または修士論文に代わる研究論文。400字詰原稿用紙30枚以上に相当する分量であること。

\* 論文要旨（2,000字以内）を添えること。

\* 出願時に書類と別便で郵便書留またはレターパックプラスにより提出すること。

【研究計画書】入学後の詳細な研究計画書（2,000字程度）。所定の用紙（22～23ページ）を使用すること。

\* 出願時に提出論文と同封して提出すること。（書類とは別便）

【筆記試験（語学）】英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／中国語／日本古文・漢文／琉球語以上の7科目より1科目を選択すること。オンライン及び郵送により試験を実施する。

【オンライン口述試験】提出された修士論文または修士論文に代わる研究論文、研究計画書及び筆記試験の解答等をもとにオンラインで面接を行う。

## 2 芸術表現研究領域

### ア 造形芸術

【作品及びポートフォリオ】表1を参照のこと。

【小論文】研究分野や提出作品に関する学術的論考。これまでの制作・研究をふまえ、研究テーマについて、現段階での問題意識に基づき、文献や資料を調査の上、論考すること。A4用紙を用い、4,000字以上に相当する分量であること。修士論文、副論文等をもって代えることもできる。

\* 出願時に出願書類と別便で郵便書留またはレターパックプラスにより提出すること。

【研究計画書】入学後の詳細な研究計画書(2,000字程度)。所定の用紙(22~23ページ)を使用すること。

\* 出願時に小論文と同封して提出すること。(出願書類とは別便)

【筆記試験(語学)】英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/中国語/日本古文・漢文/琉球語以上の7科目より1科目を選択すること。オンライン及び郵送により試験を実施する。

【オンライン口述試験】作品、ポートフォリオ、小論文、研究計画書及び筆記試験の解答等をもとにオンラインで面接を行う。

作品・ポートフォリオ等の提出(芸術表現研究領域:造形芸術研究室)

表1

研究領域	研究室	研究分野	作品・ポートフォリオ等	
			日時・提出先	内容・方法
芸術表現	造形芸術	工芸	令和4年2月17日(木)必着 (1) 提出先:教務学生課 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5080 ※ ポートフォリオは郵便書留、レターパックプラスまたは宅配便等にて送付すること。	(1) ポートフォリオ(作品写真集) 過去に制作した作品の写真、工程や素材を示す資料等をファイルしたもの。 ・A4~A3サイズ1冊 ※ 作品提出は不要
		デザイン	令和4年2月17日(木)必着 (1) 提出先:教務学生課 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5080 ※ ポートフォリオは郵便書留、レターパックプラスまたは宅配便等にて送付すること。	(1) ポートフォリオ(作品写真集) 過去に制作した作品の写真、工程や素材を示す資料等をファイルしたもの。 ・A4~A3サイズ1冊 ・映像資料の提出も可(USBやDVDによるデータ提出) ※ 作品提出は不要
		絵画	令和4年2月17日(木)必着 (1) 作品提出先:首里当蔵キャンパス 美術棟 絵画学科室 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5049 ※ 作品は宅配便または運送業者等を利用して提出すること。 (2) ポートフォリオ提出先:教務学生課 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5080 ※ ポートフォリオは郵便書留、レターパックプラス、または宅配便等にて送付すること。	(1) 絵画作品 志望分野の作品3点(平面作品は50号以上250cm×200cm以内)とし、それ以上の場合は分割出来る画面であること。平面以外の作品は250cm×200cm、奥行き200cmの範囲内でまとめてプレゼンテーションできる作品を提出。(何れも2年以内に制作したものに限る) (2) ポートフォリオ(作品写真集) ・A4~A3サイズ1冊

研究領域	研究室	研究分野	作品・ポートフォリオ等	
			日時・提出先	内容・方法
芸術表現	造形芸術	彫刻	令和4年2月17日(木)必着 (1) 作品提出先：首里崎山キャンパス 彫刻棟 彫刻学科室 那覇市首里崎山町4-2-12-1 Tel 098-882-5046 ※ 作品は宅配便または運送業者等を利用して提出すること。 (2) ポートフォリオ提出先：教務学生課 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5080 ※ ポートフォリオは郵便書留、レターパックプラス、または宅配便等にて送付すること。	(1) 作品 志望分野の作品3～5点。(2年以内に制作したものに限り) (2) ポートフォリオ(作品写真集) ・A4～A3サイズ1冊

- \* 作品・ポートフォリオには提出作品等貼付用紙(20ページ)を貼ること。(適宜コピーして使用すること)
- \* 安全管理及び保健衛生上、支障のある作品は受理しない。
- \* 作品送付時の梱包は、破損がないように注意すること。開梱、再梱包に特別な配慮が必要な作品は送付せず、ポートフォリオ内で提示すること。
- \* 提出作品の破損・汚損に対して、本学は一切責任を負わない。必要な場合は、受験者の判断により保険に加入するなどの措置を講じること。
- \* 作品の返送は、試験後10日以内に受験者の費用負担により、受験者が手配すること。返送日時について、受験者は運送会社等の委託業者と調整を行い、提出先の学科室に連絡すること。
- \* ポートフォリオを試験後に返送する必要がある場合には、切手とあて先を記入した封筒等を同封すること。

※ 作品の送付及び返送については原則上記のとおりとするが、個別に対応が必要な場合は、各学科室に相談の上、詳細については適宜調整を行うこと。

イ 音楽芸術

【実技試験（課題曲等録画映像郵送）】（作曲以外）表2を参照のこと。

【提出作品（郵送）】（作曲のみ）表2を参照のこと。

【小論文】研究分野や提出作品に関する学術的論考。A4用紙を用い、4,000字以上に相当する分量であること。修士論文、副論文等をもって代えることもできる。

\* 出願時に出願書類と別便で郵便書留またはレターパックプラスにより提出すること。

【研究計画書】入学後の詳細な研究計画書（2,000字程度）。所定の用紙（22～23ページ）を使用すること。

\* 出願時に小論文と同封して提出すること（出願書類とは別便）。

【筆記試験（語学）】英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／中国語／日本古文・漢文／琉球語以上の7科目より1科目を選択すること。オンライン及び郵送により試験を実施する。

【オンライン口述試験】提出作品または実技試験、小論文、及び筆記試験の解答等をもとにオンラインで面接を行う。

実技試験課題曲等（芸術表現研究領域：音楽芸術研究室）\*課題曲等録画映像郵送

表2

研究領域	研究室	研究分野	課題曲等
芸術表現	音楽芸術	琉球古典音楽	演奏時間40分程度の任意のプログラムを演奏すること。 ただし、プログラムの中に大昔節、地謡を含めることとする。 〔注意事項〕 ※ 試験曲は暗譜で独唱し、全曲を通して録画すること。 ※ 地謡は、演奏のみとする（立方は伴わない）。歌持ちの回数は2～3回とする。 ※ カメラアングルについて、録画は正座で演奏し、全身が映るように撮影すること。 ※ 一切の編集は行わないこと。途中で録画が中断しないこと。編集が確認された場合は、不正行為とみなすことがある。  送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターパックプラス 必着日：令和4年2月17日（木）
		琉球舞踊	演奏時間40分程度の任意のプログラムを演舞すること。 ただし、プログラムの中に古典女踊り「諸屯」と二才踊り「高平良万歳」を含めること。なお、創作舞踊を含めても良い。 〔注意事項〕 ※ 稽古着（長着）を着用することとし、小道具は受験者が準備すること。 ※ 試験曲の音源は各自で用意し、全曲を通して演舞し録画すること。 ※ カメラアングルについて、カメラは正面の固定位置に設定し、出羽・中踊・入羽を含め、全身が映るように録画すること。ズーム等は行わないこと。 ※ 一切の編集は行わないこと。途中で録画が中断しないこと。編集が確認された場合は、不正行為と見なすことがある。  送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターパックプラス 必着日：令和4年2月17日（木）
		組踊	演技時間40分程度の任意のプログラムを演技すること。 ただし、玉城朝薫の組踊作品<朝薫の五番>から1演目と、<朝薫の五番>以外から1演目を選択し、各役2名以上の所作と唱えを抜粋すること。更に、組踊から独立した女踊り「女こてい節」、男踊り「波平大主道行口説」から1演目を選択すること。 〔注意事項〕 ※ 稽古着（長着）を着用することとし、小道具は受験者が準備すること。 ※ 組踊（抜粋）・琉球舞踊試験曲の音源は各自で用意し、全曲を通して演技・演舞し録画すること。 ※ カメラアングルについて、カメラは正面の固定位置に設定し、出羽・中踊・入羽を含め、全身が映るように録画すること。ズーム等は行わないこと。 ※ 一切の編集は行わないこと。途中で録画が中断しないこと。編集が確認された場合は、不正行為と見なすことがある。  送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町1-4 Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターパックプラス 必着日：令和4年2月17日（木）

研究領域	研究室	研究分野	課題曲等
芸術表現	音楽芸術	声楽	<p>演奏時間 40 分～50 分程度の任意のプログラムを演奏すること。</p> <p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 歌唱は暗譜とする。</li> <li>※ 伴奏者は受験者が手配すること。</li> <li>※ 演奏順は、受験曲目提出用紙に記入した順とする。</li> <li>※ 前奏、間奏、後奏は省略することも可とする（カット箇所を記入の上、受験曲目の楽譜を出願時に出願書類と同封の上、提出すること）。</li> <li>※ プログラム全曲を通して演奏し、録画すること。</li> <li>※ カメラアングルについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔が確認できるように上半身または全身が画面に映るように撮影すること。</li> <li>・暗譜での演奏のため、楽譜や譜面台がないことが確認できること。</li> </ul> </li> <li>※ 伴奏(者)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画撮影の際、伴奏者の映り込みの是非は問わないが、映り込む場合は、伴奏者に入試で使用することについての許諾を得ておくこと。</li> </ul> </li> <li>※ 一切の編集は行わないこと。途中で録画が中断しないこと。編集が確認された場合は、不正行為と見なすことがある。</li> </ul> <p>送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町 1-4      Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターバックプラス      必着日：令和4年2月17日（木）</p>
		ピアノ	<p>演奏時間 60 分程度の任意のプログラムを演奏すること。</p> <p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 修士演奏で演奏した曲目一覧を出願時に出願書類と同封の上、提出すること。</li> <li>※ 演奏は暗譜とする。</li> <li>※ プログラム全曲を通して演奏し、録画すること。</li> <li>※ グランドピアノもしくはアップライトピアノでの演奏とすること(電子ピアノ不可)。</li> <li>※ カメラアングルについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画は、必ず演奏者の手元、横顔、ペダル操作が映るように設定すること。</li> <li>・暗譜で演奏していることが確認できるように、譜面台も画像に入れること。</li> <li>・カメラは固定位置に設定し、ズーム等は行わないこと。</li> </ul> </li> <li>※ 一切の編集は行わないこと。途中で録画が中断しないこと。編集が確認された場合は、不正行為とみなすことがある。</li> </ul> <p>送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町 1-4      Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターバックプラス      必着日：令和4年2月17日（木）</p>
		弦楽器	<p>ヴァイオリン、チェロ</p> <p>演奏時間 50 分～60 分程度の任意のプログラムを演奏すること。</p> <p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 演奏は暗譜とする。</li> <li>※ 伴奏者は受験者が手配すること。</li> <li>※ プログラム全曲を通して演奏し、録画すること。</li> <li>※ カメラアングルについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴァイオリンは、左手ならびに演奏時の右手が画面に映るように撮影すること。また、全身または上半身（演奏中の左手、右腕を含む）が必ず映っていること。</li> <li>・チェロの録画撮影の角度については、以下を参考にすること。 高さ：カメラは肩の高さ、位置：ほぼ中央 必要とされる撮影箇所：《向かって左側》弓先での右手、《上》頭、《下》f 字孔</li> </ul> </li> <li>・暗譜での演奏のため、楽譜や譜面台がないことが確認できること。</li> <li>※ 伴奏(者)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画撮影の際、伴奏者の映り込みの是非は問わないが、映り込む場合は、伴奏者に入試で使用することについての許諾を得ておくこと。</li> <li>・原則として、伴奏による演奏(録画撮影)とするが、諸事情により用意ができない場合は、無伴奏での演奏(録画撮影)も可とする。その場合、審査に影響はない。</li> </ul> </li> <li>※ 一切の編集は行わないこと。途中で録画が中断しないこと。編集が確認された場合は、不正行為と見なすことがある。</li> </ul> <p>送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町 1-4      Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターバックプラス      必着日：令和4年2月17日（木）</p>

研究領域	研究室	研究分野	課題曲等
芸術表現	音楽芸術	管打楽器	<p>クラリネット、ホルン、トランペット、打楽器 演奏時間 50 分～60 分程度の任意のプログラムを演奏すること。</p> <p>〔注意事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 演奏は暗譜とする。</li> <li>※ 伴奏者は受験者が手配すること。</li> <li>※ プログラム全曲を通して演奏し、録画すること。</li> <li>※ カメラアングルについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・管楽器は、全身若しくは上半身が必ず映っていること。</li> <li>・打楽器は、上半身及び手元が必ず映っていること。</li> <li>・暗譜での演奏のため、楽譜や譜面台がないことが確認できること。</li> </ul> </li> <li>※ 伴奏(者)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画撮影の際、伴奏者の映り込みの是非は問わないが、映り込む場合は、伴奏者に入試で使用することについての許諾を得ておくこと。</li> <li>・原則として、伴奏による演奏(録画撮影)とするが、諸事情により用意ができない場合は、無伴奏での演奏(録画撮影)も可とする。その場合、審査に影響はない。</li> </ul> </li> <li>※ 一切の編集は行わないこと。途中で録画が中断しないこと。編集が確認された場合は、不正行為と見なすことがある。</li> </ul> <p>送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町 1-4      Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターパックプラス      必着日：令和 4 年 2 月 17 日（木）</p>
		作曲	<p>3 点以内の作曲作品（修士作品を含めてもよい）を送付すること。</p> <p>送付先：教務学生課 那覇市首里当蔵町 1-4      Tel 098-882-5080 送付方法：郵便書留またはレターパックプラス      必着日：令和 4 年 2 月 17 日（木）</p>

- \* 実技演奏の録画媒体（DVD、USB メモリ、SD カードのいずれか）を、本学教務学生課宛に、氏名、住所、連絡先（電話番号）を明記の上、「令和 4 年度大学院芸術文化学研究科（後期博士課程）入学試験課題曲等録画物在中」と明記して書留郵便またはレターパックプラスにて送付すること。
- \* 以下に指定する方法で課題曲等の録画映像データを提出すること。なお、演奏環境、画質等は評価に影響しない。注意事項は、各研究分野の「課題曲等」欄の記載に従うこと。
- \* 録画方法・提出方法
  - ア 記録メディアは、次の媒体のいずれかとする。DVD    USB メモリ    SD カード（含 micro SD カード）
  - イ SD・USB メモリのフォーマット形式は次のいずれかとする。NTFS    FAT32    exFAT
  - ウ 動画ファイル形式は、次の形式とする。MOV    MP4    AV1    WMV    MPG
  - エ DVD の場合は、ファイナライズ処理を必ず行い、他の機器で再生可能かどうかを確認すること。
  - オ 録画の始めに受験票と顔を一緒に映すこと。名前等は言わないこと。
  - カ ファイル名に「受験する研究分野名と氏名」を記載すること。
  - キ 記録メディア本体もしくはケースに、「受験する研究分野名と氏名」を記載すること。また、必ずコピーを手元にとっておくこと。
  - ク 郵送中に破損しないように梱包すること。
  - ケ 記録メディアは、ウイルスチェックをした上で送付すること。



## IV 試験日程・試験方法

### 1 作品・実技試験（芸術表現研究領域）

令和4年2月17日（木）必着で下記資料を送付すること。

※ 提出資料は、希望があれば試験後に返却可能である。

（返却を希望する場合は、出願書類に住所等記載済みの返信用封筒と切手を同封すること）

#### ア 造形芸術

作品・ポートフォリオ等

提出資料・送付先・送付方法：表1（2～3ページ）参照

#### イ 音楽芸術

作品（作曲のみ）

提出資料・送付先・送付方法：表2（6ページ）参照

課題曲等録画映像（作曲以外）

提出資料・送付先・送付方法：表2（4～6ページ）参照

### 2 語学試験（全領域）

受験者に送付（オンライン・郵送併用）する試験問題に解答し、令和4年2月25日（金）必着でメール返信（オンライン）の上、答案用紙・問題用紙を返送する。

### 3 オンライン口述（面接）試験（全領域）

令和4年3月1日（火）、2日（水）

面接方法：本学指定のアプリケーションを使用し、オンライン形式で行う。通信環境が悪い場合は電話にて行う。

※ 試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患しオンライン口述試験を受験できなかった入学志願者は、令和4年3月11日（金）に追試験として受験することができる。その場合は、医師の診断書の提出が必要。

詳細については対象者に本学より連絡を行う。

### \* オンライン口述試験受験上の注意

- (1) 受験生はパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に一人に対応できる環境を整えることを求める。なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。
- (2) 試験に使用できる通信機器は1台とし（緊急時を除く）、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。
- (3) 受験者は、指定時刻にオンラインに接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- (4) 試験中の録画・録音は禁止する。
- (5) 通信機器が接続不可能となった場合は本学教務学生課（TEL 098-882-5080）と連絡を取り、対応について相談すること。
- (6) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
- (7) 試験当日は、本学「受験票」を必ず携帯すること。
- (8) 指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに本学教務学生課（TEL 098-882-5080）に申し出ること。
- (9) 試験期間中は、監督者の指示に従うこと。
- (10) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

## V 出願手続

### 1 出願期間

令和4年1月17日（月）～21日（金）

※ 令和4年1月21日（金）までの郵送発信局の消印があるものは有効とする。

### 2 出願方法

本入学試験はオンライン出願で行う。本学ホームページからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願が困難な場合に限り、本学ホームページに記載してある要項をダウンロードし、記載の上本学へ送付することを認める。（紙出願）

オンライン出願の際は、**下記書類を郵送（書留郵便（速達）を使用すること）する必要がある**、その提出までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものだけに限り受理する。

※ 出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ（URL：<http://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>）

### 3 提出先 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4

沖縄県立芸術大学 教務学生課 芸術文化学研究科担当 宛 電話 098-882-5080

## VI 出願書類

下記の出願書類1～9を順番に重ね、オンライン出願ページから印刷した用紙を貼付した角形4号（197mm×267mm）の封筒に入れ、上記出願手続に従い郵送すること。

※ 出願書類10～12と出願書類13は、それぞれ他の出願書類と別便で郵送すること。

※ いかなる理由があろうと出願書類受理後に出願書類の変更は認めない。

※ 提出書類の不備なものは受理しない。

	出願書類	摘 要
1	入学願書・履歴書	オンライン出願ページから必要事項を入力し、印刷して提出すること。 ※ 氏名は戸籍に記載されている文字を正しく入力すること。現住所は願書入力時の住所でよい。（以下の書類も同様） ※ 上半身・無帽・正面向、出願3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロード提出すること。 ※ 紙出願の場合は、所定の用紙（18～19ページ）に必要事項を記入すること。
2	成績証明書	出身大学長または出身大学院研究科長が作成し厳封したものを提出すること。ただし、本学大学院修士課程を修了した者及び終了見込みの者は提出不要。
3	修了証明書等	2ページに記載の出願資格の1～6のいずれかを有すること証明する書類を提出すること。 ただし、本学大学院修士課程を修了した者、修了見込みの者及び出願資格の7を有する者は提出不要。
4	写真票・受験票 （紙出願のみ）	所定の用紙（25ページ）に必要事項を記入し、写真を貼付して提出すること。 ※ 写真は、縦4cm横3cm、上半身・無帽・正面向、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真を2枚用意すること。 ※ 写真の裏面には入学志願者の氏名を記載すること。 ※ オンライン出願の場合、受験票は大学にて出願書類の受理後にオンライン出願ページから入手可能となる。
5	受験票送付用封筒 （紙出願のみ）	長形3号（120mm×235mm）の封筒にオンライン出願ページから印刷した用紙を貼付して、受信場所、郵便番号、入学志願者の氏名を明記し、664円切手を貼付すること。

6	入学考査料	<p>入学考査料（30,000円）の納入方法は、オンライン出願ページの指示に従い、<b>令和4年1月21日（金）まで</b>に納めること。（クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納入が可能）</p> <p>※ 領収書の提出は不要。</p> <p>※ クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）の場合は、別途手数料がかかるため留意すること。</p> <p>※ 紙出願の場合は、入学考査料の額が記載された郵便局の発行する普通為替証書を提出すること。なお、普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。</p> <p>※ いったん納入した入学考査料は、いかなる理由があっても返還しない。</p>
7	領収書・領収書原符 (紙出願のみ)	<p>所定の用紙（26ページ）の納入者欄に入学志願者の氏名を記入し、提出すること。</p> <p>※ その他の欄は記入しないこと。</p> <p>※ 本様式は銀行用紙ではない。</p>
8	住民票抄本 (県内居住者のみ)	<p>県内居住者は入学料の額が軽減されるので、令和3年4月1日以前から県内に住所を有することを証明する本人か配偶者、又は一親等親族の住民票抄本を提出すること。</p> <p>※ 県内居住者は以下の者を指す。</p> <p>ア 入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者</p> <p>イ 入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は一親等の親族のある者</p>
9	受験曲目提出用紙 (作曲を除く音楽芸術研究室のみ)	<p>所定の用紙（24ページ）に、課題曲等録画映像の演奏等曲目と曲目ごとの演奏所要時間及び総演奏所要時間を記入し提出すること。</p> <p>※ 声楽受験者は、カット箇所が記入された受験曲目の楽譜を同封して提出すること。</p> <p>※ ピアノ受験者は、修士演奏で演奏した曲目一覧を同封して提出すること。</p>
10	論文 (比較芸術学研究領域及び民族音楽学研究領域のみ)	<p>修士論文、または修士論文に代わる研究論文を1部提出すること。コピーも可。</p> <p>※ 400字詰原稿用紙30枚以上に相当する分量であること。</p> <p>※ 論文要旨（2,000字以内）を添えること。</p> <p>※ 日本語で書かれたものに限る。</p> <p>※ 論文の内容は、本研究科の研究領域に関わるものとする。</p> <p>※ 出願期間内に出願書類1～9と別便で送付すること。封筒の表に「芸術文化研究科入学試験提出論文」及び希望する研究領域名を朱書すること。</p> <p>※ 希望があれば試験後に返却可能である。返却を希望する場合は、受信場所、郵便番号、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼付して同封すること。</p>
11	小論文 (芸術表現研究領域のみ)	<p>1部を提出すること。修士論文、副論文等をもって代えることもできる。コピーも可。</p> <p>※ A4用紙を用い、4,000字以上に相当する分量であること。</p> <p>※ 日本語で書かれたものに限る。</p> <p>※ 小論文の内容は、本研究科の研究分野に関わるものとする。</p> <p>※ 出願期間内に出願書類1～9と別便で送付すること。封筒の表に「芸術文化研究科入学試験提出論文」及び「芸術表現研究領域」を朱書すること。</p> <p>※ 希望があれば試験後に返却可能である。返却を希望する場合は、受信場所、郵便番号、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼付して同封すること。</p>
12	研究計画書	<p>所定の用紙（22～23ページ）に入学後の研究計画を詳しく書き、上記10の論文または11の小論文に同封し、送付すること。（2,000字程度）</p>
13	作品・ポートフォリオ・課題曲等収録映像 (芸術表現研究領域のみ)	<p>表1（2～3ページ）または表2（4～6ページ）の内容に従い、出願書類1～12と別便で送付すること。</p> <p>※ 出願書類1～12と送付先が異なる場合があるので表をよく確認すること。</p>

## Ⅶ 合格者発表

- 日 時 令和4年3月5日(土) 午前10時  
場 所 本学首里当蔵キャンパス管理棟1階ロビーに掲示及び本学ホームページに掲載  
(合格者には文書で通知する。電話での問い合わせには一切応じない)  
※ 追試験合格者の発表は令和4年3月20日(日) 午前10時に行う。場所は同じ。

## Ⅷ 入学手続

- 日 時 令和4年3月8日(火)～15日(火)(土・日・祝日を除く)  
窓口受付時間 午前10時～午後4時  
書類を郵送する場合は、書留郵便(速達)とし、令和4年3月15日(火)までに必着のこと。  
(外国在住者については、詳細は教務学生課に問い合わせること)  
場 所 本学首里当蔵キャンパス 沖縄県立芸術大学 教務学生課  
入学料 県内居住者 282,000円  
その他の者 512,000円  
注: 県内居住者  
ア 入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する者  
イ 入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は一親等の親族のある者

- ※ 入学料は、本学指定の納入通知書により、入学手続時までに最寄りの金融機関で納入し、領収書の写しを他の手続書類とともに提出すること。  
※ 追試験合格者の入学手続期間は令和4年3月22日(火)～28日(月)とする。  
※ 現在、他大学大学院(後期博士課程)に在籍する者は、当該大学院を修了または退学したことを証する書類を添付すること。

授業料 年額 535,800円(内訳 前期分 267,900円、後期分 267,900円)  
前期授業料は令和4年4月30日(土)までに、後期授業料は令和4年10月31日(月)までに納入すること。

- ※ 在学中に上記授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。  
※ 長期にわたる教育課程の履修(長期履修)を希望する者は、別途、長期履修申請の手続きを行うこと。(17ページ参照)

### 入学料及び授業料の減免について

原則として大学院の学業成績の平均が2.0(良)以上の者で、かつ、次のいずれかに該当する者を対象に、審査のうえ全額免除又は2分の1に減額することがある。

- 1 天災その他不慮の災害により、学費の負担に耐えられなくなった者
- 2 生活保護法(昭和25年法律第144号)による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- 3 前項のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

## Ⅸ 入学試験問題の公表

入学試験問題(語学)は、過去3年間分を公表している。(詳細は教務学生課に問い合わせること)

## X 入試情報開示請求について

沖縄県個人情報保護条例に基づき、一般選抜の入試結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができる。

- 1 開示内容  
当該年度入試の個人成績の総合計点を開示する。
- 2 開示請求できる期間  
令和4年4月9日（土）～5月11日（水）（午前9時～午後5時）  
ただし、土・日・祝日等休業となる日は除く。
- 3 開示請求の受付を行う場所  
沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス 教務学生課
- 4 開示の方法  
本人部分のみ閲覧
- 5 開示請求に必要な書類  
受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。
- 6 開示請求  
受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。
- 7 その他  
電話による開示内容の問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、本学ホームページを参照のこと。

## XI 外国人志願者に対する取扱い

外国人で入学を志願する者の取扱いは、本要項に定める事項のほか、以下の定めによる。

- 1 出願資格  
本学大学院の授業を理解でき日本語による学位論文を執筆できる日本語能力を有すること。かつ、日本語能力試験（JLPT）でN2以上に合格している者。なお、N1に合格している者が望ましい。
- 2 出願手続
  - (1) 願書受付  
令和3年（2021年）12月13日（月）～令和4年（2022年）1月21日（金）
  - (2) 出願書類  
募集要項に定める書類（8～9ページ）のほか、以下の書類等を提出しなければならない。（出願書類に同封すること）  
なお、国外から出願書類を郵送する場合は、EMSを使用し、受領証等の郵送したことが分かる書類をデータ化（スキャニング、写真撮影等）して本学教務学生課（kyomu@okigei.ac.jp）にメールで送信すること。  
ア 日本語能力試験の「可否結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」  
イ 学費、生活費の負担能力を証明する書類  
ウ 旅券の写しまたは在留カード両面の写し
  - (3) 入学審査料  
30,000円 オンライン出願のページの指示に従い、期限内に納付すること。  
（クレジットカード、コンビニ支払またはペイジー（Pay-easy）による納入が可能。紙出願の場合は、普通為替証書を使用すること）
  - (4) 受験上の注意  
試験は全て日本語で実施する。提出書類も全て日本語で記入すること。筆記試験（語学）に関しては、母国語を選択することもできる。
- 3 入学手続  
入学手続きの際に、在留資格（「留学」）を記載した住民票の写しその他必要書類を提出する。

外国人志願者に対する取扱いについて不明な点は、教務学生課に問い合わせること。

電話 098-882-5080 / メールアドレス kyomu@okigei.ac.jp

# 大 学 院 案 内

## 建学の理念

日本文化の中における沖縄の地域文化の特性と伝統は、極めて特徴的であり、文化伝統の源流を探り、文化生成の普遍性を究めるために不可欠の内容を持つものである。わけても沖縄固有の風土によって培われた個性的な芸術文化の継承と創造の問題は、日本文化としてはもちろんのこと、沖縄県にとっても重要な課題であるといわざるを得ない。そして、それらを担う人材育成もまた長い未来への架橋として緊要なことである。

県立芸術大学を建学する基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあるが、そのためには、地域文化の個性を明らかにし、その中に占める美術・工芸・音楽・芸能等さまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組み、その特性を生かすことでなければならない。このことは、日本文化の内容をより豊かにするとともに、ひいては、国際的な芸術的文化活動にも寄与するものと信ずる。

我が国の最南に位置する県立芸術大学は、東アジア、東南アジアを軸とした太平洋文化圏の中心として、それらの地域における多様な芸術文化の実態と、地域文化伝統の個性とのかかわりを明らかにし、その広がり追究し、汎アジア的芸術文化に特色をおいたユニークな研究教育機関にしたい。

# 沖縄県立芸術大学大学院 芸術文化学研究科の三つのポリシー

## ■ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

芸術文化学研究科では、研究指導を受け所定の単位を修得し、博士論文等の審査及び試験に合格した学生には、博士課程の修了を認定し、博士（芸術学）の学位を授与します。

比較芸術学研究領域・民族音楽学研究領域における博士論文、芸術表現研究領域における博士論文及び研究作品・研究演奏は、1) その専門分野において高度な研究内容であること、2) 創造的、独創的な研究であること、3) その研究が国際的にも貢献できること等の観点から審査します。

## ■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

芸術文化学研究科のカリキュラムは、芸術文化についての幅広い見識と、自立して研究活動を行うに必要な高度の能力を養うような教育を行います。博士（芸術学）の学位を取得できるよう、博士論文等の完成を目標とした研究指導を中心に据え、実技と理論との結びつきを重視した本学ならではの科目である芸術表現総合比較研究Ⅰを必修とし、その他複数の領域の科目を自由に選択するように授業科目を編成しています。

## ■アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

### 1 教育の理念

本学の基本的な理念は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、芸術文化学研究科は、実技との結びつきを重視した芸術文化に関する高度な理論と応用の教授研究により、芸術文化についての豊かな識見及び自立して研究活動を行うに必要な高度の能力を有する研究者を養成し、もって芸術文化の発展に寄与することを目的としています。

### 2 本研究科の求める人材

芸術に関する基礎的な知識を備え、自立した研究者となるための意欲と能力と展望を備えていることを求めます。

### 3 入学者選抜の実施

2に掲げる人材を受け入れるため、専門的な学力試験、研究課題に関する口述試験を実施しています。

## 専攻案内

本学大学院の芸術文化学研究科（後期博士課程）芸術文化学専攻には、比較芸術学と民族音楽学、芸術表現の三つの研究領域が設定しており、学生はいずれかの研究分野に属して研究指導を受け、必修科目「芸術表現総合比較研究Ⅰ」（2単位）及び選択科目を2科目（8単位）以上履修し、博士論文等（博士論文、研究作品又は研究演奏）の審査に合格すれば修了することになる。

### 《比較芸術学研究領域》

■比較美学・芸術学の分野では、従来における西洋美学への偏重を反省しつつ、多様な美意識を体系的な見地から比較研究することによって、それぞれの特質および形成原理を解明することを主要な課題とする。とりわけ、芸術体験の価値構造の分析から導かれる諸契機により、東西の美意識を比較類型学的に解明することが目指される。

■芸術批評史の分野においては、作家による作品の歴史という従来ありがちな美術史学の研究方法の限界を反省しつつ、美術作品を生み出してきた思想的、歴史的な背景を厳密な史料的把握を通じて、いわば精神史としての美術史を人文科学の諸方法を用いて構築することが目指される。

■民族芸術文化学の分野では、諸民族における芸術と文化の役割について可能な限り実際のフィールドワークや実物資料、原資料に即して実証的研究を行う。例えば、諸民族の工芸美術の比較研究、文学の比較研究、琉球の伝統芸能・伝統文化の研究、琉球史と世界各地の歴史との比較研究などを美術史学、歴史学、考古学、文学、文化人類学の諸方法を援用しつつ研究していく。

### 《民族音楽学研究領域》

■音楽史の分野では、琉球、日本、東洋および西洋の音楽について歴史的研究を行う。古文書古楽譜の分析解釈に加えて、今日まで伝承されている音楽を対象とする場合は、その音楽の実践に即した研究方法を探究する。

■民族音楽学の分野では、主に対象の中心を琉球の古典音楽に置き、琉球独自の言語表現による文学とも関わり、その音楽的構造や形態との関連を研究する。あわせて琉球音楽の歴史的形成に寄与した東南アジア諸国の諸民族の音楽を民族音楽学の視点から研究する。

■民族芸能論の分野は、音楽を主体とする諸民族の芸能の総合的研究として、現在の音楽学に欠落している重要な分野である。民族芸能論が対象とする領域は、芸術的および民俗的な音楽、舞踊、演劇および民俗芸能を包括する。とくに沖縄の伝統的な組踊、琉球舞踊および民俗芸能は研究の中核に位置する。

### 《芸術表現研究領域》

■造形芸術の分野では、芸術家、研究者、教育者などとして自立した活動が行えるよう、より高度な作品制作能力を培い、それを理論的に支える研究の方法を学ぶ。また、人間の知的文化的活動の一つとしての造形芸術の意味と役割について、作品制作と研究を通して伝える能力を身につける。

■音楽芸術の分野では、芸術家、研究者、教育者などとして自立した活動が行えるよう、より高度な舞台表現・作品制作能力を培い、それを理論的に支える研究の方法を学ぶ。また、社会・環境に根ざした表現活動としての音楽芸術の意味と役割について、舞台表現・作品制作と研究の両面から伝える能力を身につける。



## 研究室一覧（令和4年4月予定）

研究領域	研究室	教員	研究内容
比較芸術学	比較美学・芸術学	*尾形 希和子 ※2	図像解釈学（西洋中世美術）
		喜屋武 盛也	美学（美学・芸術思想、近現代の美学・美学史）
		土屋 誠一	近・現代美術史、写真論
	芸術批評史	*小林 純子	日本美術史（日本の近世・近代美術史、沖縄美術史）
		金 恵信 ※1	東洋美術史、アジア近現代美術史、表象文化論
	民族芸術文化学	*波平 八郎	日本文学
		*森 達也	アジア工芸史、アジア考古学、中国陶磁史
		鈴木 耕太	琉球文学、琉球文化学、組踊研究、琉球芸能論
	民族音楽学	音楽史	*高瀬 澄子
向井 大策			西洋音楽史（近現代、20世紀音楽、オペラ史、音楽美学）
民族音楽学		*小西 潤子	民族音楽学（アジア・太平洋諸島の音楽）
		遠藤 美奈	民族音楽学（沖縄音楽研究、民俗芸能研究、ディアスポラ研究）
民族芸能論		*久万田 晋	民族音楽学（日本・沖縄の民族音楽学、民俗芸能論、ポピュラー音楽研究）
		呉屋 淳子	文化人類学、民俗芸能研究（朝鮮半島、南西諸島）
芸術表現	造形芸術	*砂川 泰彦	彫刻（石彫 他）
		香川 亮	日本画
		*山田 聡	陶磁器・立体造形（陶磁素材の研究及び作品制作）
		仲本 賢	視覚伝達デザイン（映像デザイン）
		高田 浩樹	環境生活デザイン（プロダクトデザイン）
	音楽芸術	*阿部 雅人	ホルン
		山内 昌也	声楽
		*仲嶺 伸吾	歌三線：安富祖流

\*：研究指導教員

※1：令和6年3月退職予定

※2：令和7年3月退職予定

## 芸術表現研究領域担当教員候補者一覧（令和4年4月予定）

以下の教員は、入学者の研究内容に応じ、任期を定めて指導を担当する。

研究領域	研究室	教員	研究内容
芸術表現	造形芸術	名護 朝和	染（型染：伝統的な紅型研究を踏まえた表現）
		花城 美弥子	織（沖縄の染織技術を用いた表現）
		久保田 寛子	染織・織（緋による色彩表現）
		當眞 茂	漆
		赤嶺 雅	視覚伝達デザイン（グラフィックデザイン）
		笹原 浩造	視覚伝達デザイン（グラフィックデザイン）
		又吉 浩	視覚伝達デザイン（メディアデザイン）
		宮里 武志	生活環境デザイン（環境デザイン）
		知花 均	油画（平面表現・版表現（凹版））
		高崎 賀朗	油画（平面表現・版表現（孔版））
		喜多 祥泰	日本画
		関谷 理	日本画
		阪田 清子	インスタレーション・ミクストメディア・映像
		河原 圭佑	彫刻（金属 他）
		(未定)	彫刻
	音楽芸術	山内 昌也	琉球古典音楽（歌三線：野村流）
		新垣 俊道	琉球古典音楽（歌三線：野村流）
		比嘉 いずみ	琉球舞踊
		(未定)	琉球舞踊
		阿嘉 修	組踊
		片桐 仁美 ※1	声楽
		五郎部 俊朗 ※2	声楽
		松田 奈緒美	声楽
		小杉 裕一	ピアノ
		小沢 麻由子	ピアノ
		大城 英明	ピアノ
		岡田 光樹	ヴァイオリン
		林 裕	チェロ
		澤村 康恵	クラリネット
		倉橋 健	トランペット
屋比久 理夏	打楽器		
塚本 一実	作曲		
土井 智恵子	作曲		

※1：令和5年3月退職予定

※2：令和6年3月退職予定

# 沖縄県立芸術大学大学院長期履修規程

## (趣旨)

第1条 この規程は、沖縄県立芸術大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）の規定に基づいて、沖縄県立芸術大学大学院における長期にわたる教育課程の履修（以下「長期履修」という。）に関し、必要な事項を定める。

## (対象者)

第2条 長期履修を希望することができる者は、本学大学院修士課程又は博士課程の第1年次に入学する者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 官公庁・企業等に在職している者や自ら事業を行っている者などフルタイムの有職者のほか、アルバイトやパートタイムに従事する者も含む。ただし、修学に支障を及ぼさない範囲でのアルバイトやパートタイムに従事する者は除外する。
- (2) 育児又は親族の介護等を行う必要のある者。ただし、修学に支障を及ぼさない範囲のものは除外する。
- (3) その他やむを得ない事情を有し、修業年限で修了することが困難な者。

## (申請手続)

第3条 長期履修を希望する者は、各研究科の学生募集要項等で定める期間内に学長に対し、長期履修申請書（様式第1号）及びその他所定の書類を提出しなければならない。

## (承認・不承認)

第4条 長期履修の承認及び不承認の決定については、研究科委員会の議を経て学長が行なう。

- 2 学長は、前項の規定により長期履修の承認及び不承認を決定したときは、長期履修に関する通知書（様式第2号）により、通知するものとする。

## (長期履修期間)

第5条 長期履修の期間は、修士課程は3年、博士課程は4年又は5年とする。

## (履修期間短縮)

第6条 長期履修を承認された者（以下「長期履修学生」という。）が長期履修期間の短縮を希望する場合は、短縮された場合に修了を予定する年度の前年度の2月1日から2月末日までの間に、学長に長期履修期間短縮申請書（様式第3号）を提出する。

- 2 長期履修期間の短縮期間は、年を単位とする。
- 3 長期履修期間の短縮の承認は、研究科委員会の議を経て、申請のあった年度内に学長が行なう。
- 4 学長は、前項の規定により長期履修期間の短縮を承認したときは、長期履修期間短縮承認書（様式第4号）により長期履修期間の短縮を承認された者に通知するものとする。

## (履修)

第7条 長期履修学生は、履修計画及び研究計画に従い、計画的な履修を行わなければならない。

## (授業料)

第8条 長期履修学生の授業料の年額は、別に定めるところによる。

## (その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、研究科委員会の議を経て、学長が別に定める。

## 附 則

この規程は、令和元年8月5日から施行する。

## 附 則

この規程は、令和3年3月31日から施行する。

令和4年度 沖縄県立芸術大学大学院  
**芸術文化学研究科 入学願書**

(注)1 受験番号

(ふりがな)		生 年 月 日 (注)3	年	月	日
氏名 (注)2			男	・	女
出身大学院	大学大学院	研究科	課程 専攻	年	月 修了・修了見込
現住所	〒  TEL ( )				
合格通知 送付先	〒  TEL ( )				
希望する 研究分野 (注)4	比較芸術学研究領域 : 比較美学・芸術学 芸術批評史 民族芸術文化学 民族音楽学研究領域 : 音楽史 民族音楽学 民俗芸能論 芸術表現研究領域 : 造形芸術 (工芸・デザイン・絵画・彫刻) 音楽芸術 (琉球古典音楽・琉球舞踊・組踊・声楽・ ピアノ・弦楽器・管打楽器・作曲)				
語学の 選択科目 (注)5	英語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 中国語 日本古文・漢文 琉球語				

- (注) 1 受験番号欄は記入しないこと。  
 2 氏名は戸籍に記載されているとおりの文字を正確に記入すること。  
 3 願書等の性別欄は統計のためのみに使用する。性別については自認する性別を記載してよい。  
 また、性別を記載しなくてもよい。  
 4 各研究分野から希望する1分野を○で囲むこと。  
 5 各科目から選択する1科目を○で囲むこと。



# 提出作品等貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※ 番 氏名 (事務局にて記入)
出身大学大学院名	大学大学院 研究科 課程 専攻
作 品 名	(全 冊のうち第 冊)

----- ( 切 り 取 り 線 ) -----

# 提出作品等貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※ 番 氏名 (事務局にて記入)
出身大学大学院名	大学大学院 研究科 課程 専攻
作 品 名	(全 冊のうち第 冊)

----- ( 切 り 取 り 線 ) -----

# 提出作品等貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※ 番 氏名 (事務局にて記入)
出身大学大学院名	大学大学院 研究科 課程 専攻
作 品 名	(全 冊のうち第 冊)

# 提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※ 番 氏名 (事務局にて記入)
出身大学大学院名	大学大学院 研究科 課程 専攻
作 品 名	(全 冊のうち第 冊)

( 切 り 取 り 線 )

# 提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※ 番 氏名 (事務局にて記入)
出身大学大学院名	大学大学院 研究科 課程 専攻
作 品 名	(全 冊のうち第 冊)

( 切 り 取 り 線 )

# 提出小論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※ 番 氏名 (事務局にて記入)
出身大学大学院名	大学大学院 研究科 課程 専攻
作 品 名	(全 冊のうち第 冊)

# 研究計画書

受験番号 (事務局にて記入)	
-------------------	--

## 1. 研究題目

## 2. 研究の学術的背景

この研究テーマに関連する国内・国外の研究動向、及びその中でこの研究の研究史的な位置づけ、志願者自身のこれまでの研究成果とこの研究テーマの着想に至った経緯について、文献等を適宜引用しつつ詳しく述べなさい。

(続く)

注：プリントアウトした原稿を枠内に貼り付けても良い。



## 研 究 計 画 書 ( 続 き )

### 3. 研究の目的と展望

何をどこまで明らかにしようとするのか、研究の目的、方法について詳しく述べなさい。また、当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義について述べなさい。

注：プリントアウトした原稿を枠内に貼り付けても良い。

# 受験曲目提出用紙

受験番号 (事務局にて記入)	
-------------------	--

演奏等の曲目一覧 (演奏順に曲名、演奏所要時間を記入すること)

令和4年度  
写 真 票

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

※受験番号	
氏 名	
希 望 す る 研 究 分 野	
<p>写 真</p> <p>出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm 横3cm(上半身、 無帽、正面向)の 写真をこの枠内に 貼り付けること</p>	

(切り離さないこと)

(切り離さないこと)

(切り離さないこと)

令和4年度  
受 験 票

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

※受験番号	
氏 名	
希 望 す る 研 究 分 野	
<p>写 真</p> <p>出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm 横3cm(上半身、 無帽、正面向)の 写真をこの枠内に 貼り付けること</p>	
※実技試験の集合時間	

(切り離さないこと)

(切り離さないこと)

※受験番号、実技試験の集合時間欄は記入しないこと。

## 領 収 書

公立大学法人沖縄県立芸術大学

年 度	令和 3 年度				番 号					
納入者	様									
金 額				¥	3	0	0	0	0	円
(内容)										
<input type="checkbox"/> 入学考査料(芸術文化学研究科) 普通為替証書番号( )										
上記の金額を領収しました。 <div style="text-align: right;">令和 年 月 日</div> 公立大学法人沖縄県立芸術大学 出納責任者 <span style="float: right;">印</span> (収納担当者 <span style="float: right;">印</span> )										
取扱部署	<input type="checkbox"/> 総務課 <input checked="" type="checkbox"/> 教務学生課 <input type="checkbox"/> その他( )									

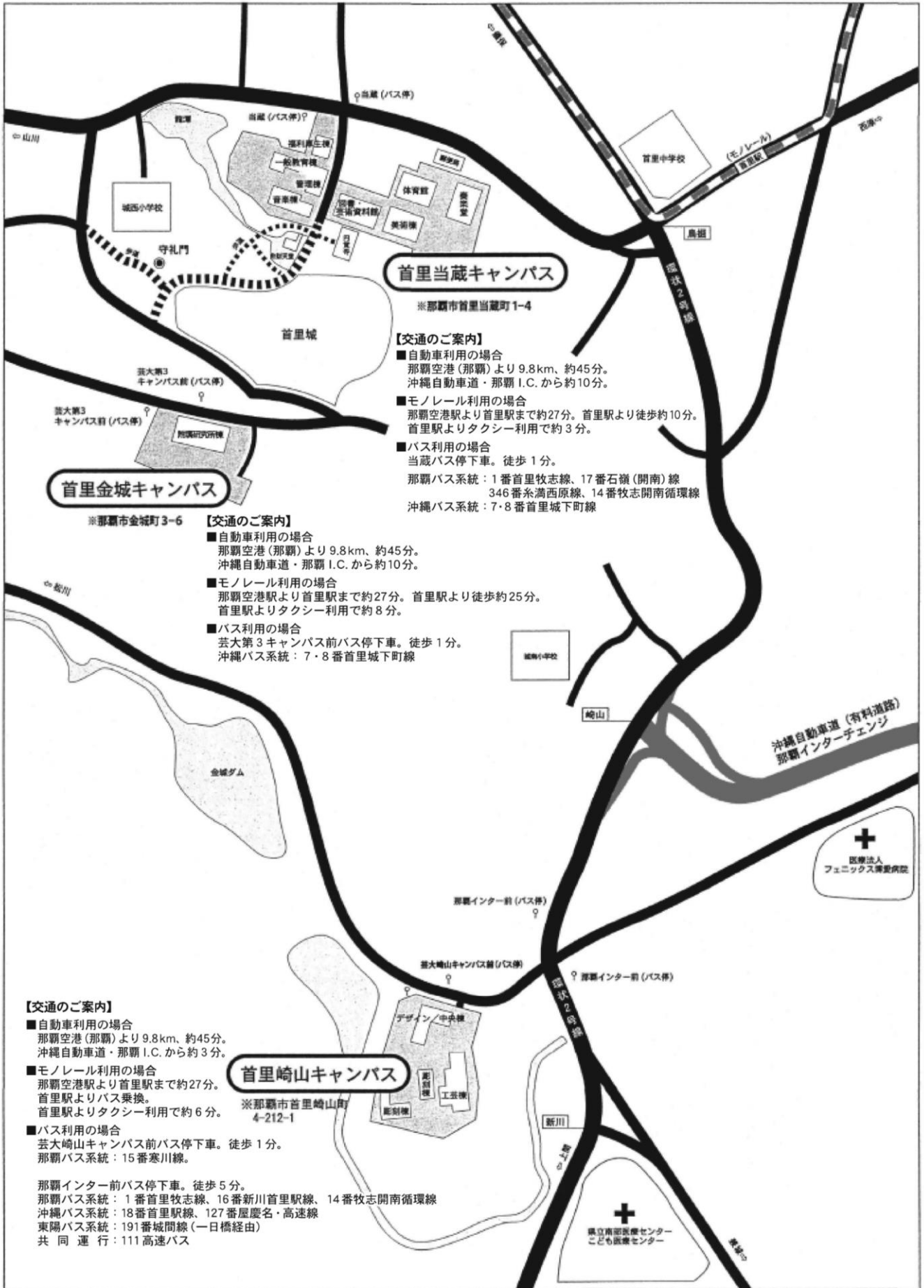
----- ( 切 り 離 さ な い ) -----

## 領 収 書 原 符

公立大学法人沖縄県立芸術大学

年 度	令和 3 年度				番 号					
納入者	様									
金 額				¥	3	0	0	0	0	円
(内容)										
<input type="checkbox"/> 入学考査料(芸術文化学研究科) 普通為替証書番号( )										
上記の金額 令和 年 月 日 領収済 印  令和 年 月 日 琉球銀行首里支店に入金済 印										
取扱部署	<input type="checkbox"/> 総務課 <input checked="" type="checkbox"/> 教務学生課 <input type="checkbox"/> その他( )									

# 沖縄県立芸術大学周辺略図



## 首里当蔵キャンパス

※那覇市首里当蔵町1-4

### 【交通のご案内】

- 自動車利用の場合  
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。  
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合  
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約10分。  
首里駅よりタクシー利用で約3分。
- バス利用の場合  
当蔵バス停下車。徒歩1分。  
那覇バス系統：1番首里牧志線、17番石嶺(開南)線  
346番糸満西原線、14番牧志開南循環線  
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

## 首里金城キャンパス

※那覇市金城町3-6

### 【交通のご案内】

- 自動車利用の場合  
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。  
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合  
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約25分。  
首里駅よりタクシー利用で約8分。
- バス利用の場合  
芸大第3キャンパス前バス停下車。徒歩1分。  
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

## 首里崎山キャンパス

※那覇市首里崎山町4-212-1

### 【交通のご案内】

- 自動車利用の場合  
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。  
沖縄自動車道・那覇I.C.から約3分。
  - モノレール利用の場合  
那覇空港駅より首里駅まで約27分。  
首里駅よりバス乗換。  
首里駅よりタクシー利用で約6分。
  - バス利用の場合  
芸大崎山キャンパス前バス停下車。徒歩1分。  
那覇バス系統：15番寒川線。
- 那覇インター前バス停下車。徒歩5分。  
那覇バス系統：1番首里牧志線、16番新川首里駅線、14番牧志開南循環線  
沖縄バス系統：18番首里駅線、127番屋慶名・高速線  
東陽バス系統：191番城間線(一日橋経由)  
共同運行：111高速バス